ハンズオンセミナー1：小児臨床

こんな お悩み ありませんか？

子どもの症状について分析や問題点を考えることが難しい

どんな指導をしたらよいかわからない

自分の臨床が適切なのか自信がない

自分の臨床にアドバイスが欲しい





小児臨床について、原点に立ち返って
基礎をしっかり学びましょう！

コース①小児臨床の基礎：講習内容

日時：2026年10月12日（月（祝）） 9：00～16：30

方式：オンライン（定員30名）

参加費：会員6,000円　士会未入会8,000円　非会員12,000円
生涯学習ポイント１ポイント

内容：・小児臨床の一連の流れを演習を通して実践的に学びます
・ブレイクアウトルームにて少人数で実施し、臨床経験豊富な講師陣が個別にアドバイスを行います！

対象：小児臨床経験5年未満（5年以上の臨床経験のある方も受講可）

申込：9月2日（水）～9　月29日（火）　士会未入会者9月7日（月）～

※申し込みは協会ホームページのハンズオンセミナーお知らせページをご確認ください

！！皆さんの参加をお待ちしております！！

コース①：小児臨床の基礎　講習会のスケジュール

	目的	内容	講師
①	小児臨床の流れ	・臨床の一連の流れを確認する ・小児を見る時の視点について整理する	岩﨑淳也
②	主な検査結果の診方について理解する	・主な検査結果の診方/解釈について、再確認を行う 例）知的発達症の基準、個人内差の判断　等	重森知奈
③	症例について評価の視点/内容の基本を習得する	・症例分析から訓練立案までの考え方について、ICFを用いてまとめる ・ICFを用いたまとめから、臨床推論を行う過程について確認を行う	佐々木香緒里
④	評価結果をICFにまとめ、現症について臨床推論ができる	【演習】 ・仮想症例を提示し、症例をまとめる ・1グループ3人でディスカッションをしながら症例をまとめ、発表資料を作成する ・発表資料は、ICFと問題点、目標、考察（根拠）について作成する	岩﨑淳也 後藤多可志 重森知奈 木下亜紀 佐々木香緒里
⑤	症例発表	【演習】 ・割り当てられた症例について報告を行う ・生涯学習部員がファシリテータとして介入し、個別にコメントを行う	岩﨑淳也 後藤多可志 重森知奈 木下亜紀 佐々木香緒里

★昨年度受講生の声

・小グループに先生がついてアドバイスがもらえるのは良かった！
・普段、ICFを使い視点を整理し評価や支援することがなかったので、実際に演習を通して経験できてよかたです。漠然としたものを具体的にとらえることができるので、日常の臨床でも取り入れていきたいと思いました。

⇒『参加してよかった！』の声、続々！！



【ハンズオンセミナー１：小児臨床　その他スケジュール】

・コース②　関連職種連携・保護者支援
日時：2026年12月13日（日）9：00～16：00
内容：病院・施設で役立つ知識や書類の書き方、保護者支援の実際を演習を含め学ぶ

・コース③　症例報告・研究手法
日時：2027年2月7日（日）9：00～16：00
内容：症例報告・抄録の作成演習から研究手法まで、小児症例発表を目指す実践講座

※コース②、③の詳細は順次、協会HPでお知らせします。

担当：生涯学習部ミーティング班
岩﨑淳也（国際医療福祉大学）　後藤多可志（目白大学）
重森知奈（帝京平成大学）　木下亜紀（株式会社あいりす あいりす訪問看護ステーション）
佐々木香緒里（国際医療福祉大学）